

【4月30日掲載】 富山県観光イメージ調査・分析業務に係る公募型プロポーザル 質問書に対する回答

No.	内容	回答
1	有効サンプル数が5,000件以上とありますが、地域・年代・性別及び、「(別紙) アンケート設問」にある層C、層Dの割り付けは必要ないと考えておいてよいでしょうか。	著しい偏りがない限り許容します。ただし、特定の年代・性別・地域(都道府県単位)の構成比に大きな偏りが予想される場合(目安として全体の30%を著しく超過、または極端に下回る場合)は、事前にご相談ください。なお、層C・層Dについても同様の考え方で、特段の割り付けは不要ですが、著しい偏りが見込まれる場合はご相談ください。
2	対象地域に(首都圏・関西圏・中京圏を中心とする)とありますが、それぞれ、(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)、(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県・滋賀県)、(愛知県・三重県・岐阜県)という認識でお間違いないでしょうか。	ご認識の通りです。
3	「調査結果データセット(CSVファイル)」とありますが、こちらはローデータとは異なるものを指していますか。その場合、どのようなものを想定していますでしょうか。	ローデータとは別に、データクレンジングなどを完了させ、発注後に指定するコーディング処理を施した状態で納品いただくことを想定しています。なお、ローデータも併せて納品してください。
4	企画提案書について、任意様式とありますが、枚数に制限はありますか。	制限はありません。
5	「主な活用方法」や「リサーチクエスト・仮説」とありますが、こちらは何を意図しておりますでしょうか。こちらに掲載の分析方法を受託者が行うという認識でよろしいでしょうか。	発注元で質問紙を設計した際に用いたリサーチクエスト及び仮説を示し、それに呼応する形で主な活用方法を明記しています。発注元で想定している調査意図をご理解いただくためにあえて掲載しております。ただし、提示しているリサーチクエストの解を導くことを目的に独自の分析手法やアプローチを設定いただくことは妨げません。
6	調査設問は別紙を参照とのことですが、基本的には調査票は、別紙の調査設問に沿って作成するという認識で良いでしょうか。	ご認識の通りです。
7	(別紙) アンケート設問の主な活用方法に含まれる「既存来訪者調査」について、確認させてください。 ・「既存来訪者調査」は具体的に何を指しますか。 ・「既存来訪者調査」の詳細(項目や形式等)を確認させていただくことは可能でしょうか。	ここでいう「既存来訪者調査」は、当機構で実施しております「富山県観光ウェブアンケート」を指します。オープンデータとして提供しておりますので、ご自由にご覧いただけます。 【参考】 https://www.info-toyama.com/stories/toyama_tourismdata#section-16189
8	有効サンプル数5,000件以上(スクリーニング後)のスクリーニングの該当をお教えてください。	(別紙) 調査設問における、S1～S9がスクリーニングに用いている設問であり、当該設問において除外されなかった有効回答数として5,000を確保していただきたいという趣旨です。
9	調査設問の中で①観光・レジャーで訪れたことがある④住んだことがある人に対しては、それ以降の設問は行わないという理解でよろしいでしょうか	ご認識の通りです。
10	SC2の選択肢「⑥いずれもない」を選んだ回答者は、本調査(スクリーニング通過後)に含めるべきでしょうか。現状の設問資料には、①(観光来訪経験あり)と④(居住経験あり)は除外、②③⑤はフラグ付与のうえ通過と記載されていますが、⑥の扱いについては記載がありません。	「⑥いずれもない」は、当該調査趣旨に合致しており、スクリーニングは通過するものとして扱います。
11	Q17(訪問意向)の「主な活用方法」欄に「層A・B別の比較」と記載されていますが、設問資料の用語定義には「層C」「層D」のみ定義されており、「層A」「層B」の定義が見当たりません。層A・Bはそれぞれどのような回答者を指しますか。	「層A・B別の比較」は誤りであり、正しくは「層C・D別の比較」です。